第2回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会会議録

1. 招 集 年 月 日 令和6年5月24日

1. 招 集 の 場 所 議員協議会室

1. 開 会 令和6年5月24日

午後1時29分

1. 散 会 令和6年5月24日

午後2時43分

1. 出 席 委 員

委員長 源 正 樹

副委員長 河 野 清 一

委員 まつもと みき

委員 大 森 揚 子

委員 山 下 昌 和

委員 宇都宮 久見子

委員 信 宮 徹 也

委員 宇都宮 俊 文

委員 加 藤 美 香

委員 中 村 一 雅

委員 山 本 英 明

委員 竹 崎 幸 仁

委員 小 玉 忠 重

委員 二 宮 一 朗

委員 兵 頭 学

委員 森 川 一 義

委員 酒 井 宇之吉

議長 井 関 陽 一

1. 欠 席 委 員

な し

1. 出 席 説 明 員

な し

1. 出席議会事務局職員

書記 瀧川 健二

1. 会議に付した事件

特別委員会の進め方について

その他

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

開会 午後1時29分

○河野副委員長

第2回目の地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会を開きます。

委員長が挨拶を行います。

○源委員長

源委員長が挨拶を行う。

○河野副委員長

3番目の協議ですけれども、進行は委員長にお願いします。

○源委員長

(1) 特別委員会の進め方について、この部分は、冒頭の挨拶で申し上げましたとおり、まず、井関議長より発言をいただいた上で決めていきたいと思います。その前に、今、タブレットに配信されたかと思えます。

昨年の令和5年4月28日臨時会において、前身となる特別委員会が設置され、約1年間かけて今年の3月議会において最終報告を出したところでございます。あくまで前の委員会のことでありますが、この中で今後の方向について、4つ委員会としての提言的なことを出しております。ちょっと時間をとりますので内容について、まず皆さんこれを確認していただけたらと思えます。議長そんなに長くかからないということで言われておりましたので、協議自体は、議長がこられてから進めたいと思えます。

暫時休憩を告げる。(休憩 午後1時32分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後1時52分)

○小玉委員

今までの答弁聞いても、市は当事者能力が私はないと思うので、地域医療振興協会が最終的に決めるという何かスタンスで、市は曖昧なままで乗り切ろうとしておりますので、最終的には、地域医療振興協会と協議をして、詰めれるところは詰めんかったら曖昧なままで、これについて問題解決しないと思えます。

○宇都宮俊委員

まず、根本からもっとはっきりせんと、当然その30床の件については私もこれは残してもらえないけんという考え持っております。ただ、指定管理者については賛成という立場とったんです

が、ここのところから皆さん認識が全く違うんで、この30床をなくすんだったら、もう指定管理反対というんだったらこの議論にも行かないと思う。やっぱりそこのところから詰めてやらんと、あやふやな立場でこれ何遍討議したっていけないし、特に給与の面でもそう、これを受け入れるのであれば給与の面も行くけど、まだそれ以前の問題でそこ行きよって、やっぱり30床なくすんやったら反対ということやったら、もうこれ何の会議やら分からんなるんで、そこのところでどういう条件を出すかにしても、指定管理を認めながら条件を出すんであればいいけど、条件を聞いたところでもともと根本から反対であれば、この会議も意味がないと思うよな。そこからやっついていかないと、どういう条件にしる指定管理は反対だという意見の人も当然あるかと思えます。私でも30床なくすのについては賛成はしたくない。ただ、どうしてもやる方法がないからこれは仕方ないなと目をつぶるぐらいのことなんですけど、それでも残す方法があるのであれば、やっぱり残してもらいたいというのは皆さん多分これ一緒だと思うんですけど、そこから、やらないと中途半端に条件のことを言うたって条件を聞いたところで、30床でひっかかって、賛成出来んというのであればそこまでも行く必要はないと思うんやけど私の意見ですが、ひとつ整理しながらやらないと、もう1カ月しかありませんので判断はできんのではないかなと思えます。

○小玉委員

この間、一部条例改正で指定管理にすることができるといふ条例が出来ましたので、はっきり言うたら指定管理は出来ます。ただ、これを地域医療振興協会がどういう条件で受けるかというのが今問題になっておると私は思いますので、その条件を今話し合わなきゃいけないと思えます。

○源委員長

これ私の私見ではなく当然の話になると思うんですけど、まだ契約に至っておりません。今回条例で出されるいわゆる指定管理者の指定というのがいわゆる契約です。契約が終わらないのに、公益財団法人という民間企業ですので、全ての情報が出ることは私は基本的にはあり得ないと思えます。

○二宮委員

今、議長がいろいろ今回の立ち上げの理由と、委員会に期待することも言われた中で、例えば特別委員会で審査して決をとるんやったら6月の中旬にはもう判断せないかんし、最終やったら27日には本会議で決めないかんわけですけど、それまでに、この特別委員会で今言われたことの何ができるのかと、何をせないかんのかというのがまず優先順位であって、例えばそこで反対で、否決が多かって成立しなかったら、先ほど市長が言ったように、もうこの話はなくなって、病院がどうなるか将来分からないという酒井委員の質問に対しての市長の答えなんですけど、そういう方向に向かうのか。また、例えば可決をしても、来年の4月までにどういう条件を少しでも市民の皆さんに寄り添ったような条件になるように、我々特別委員会の中で調査をして、市に言うのか、協会にお願いするのか、そういう2つやと思うんですよね。この6月定例会までと、そのあと、そこをちょっと整理してやったほうがいいんじゃないかなと思います。

○酒井委員

設置と運営とは、まだ運営の世界にまだ入っていないんですよね。それを運営が分からないと議決が出来ないというのもこれもごもつともだと思いますが、実際のところは、早くもしできるなれば、指定管理者の協会と、一度この特別委員会と話合いを持つような努力をされたらいかがでしょう。それからお話ししないと運営がはっきりしないと議決が出来ないという発想は、私はまだ出来ないと思います。これは、指定管理したところが運営するわけで、運営の方針だとか、いろんなことをずっと皆さん言われるんですけど、もう先のことをこうでないといかん、ああでないといかんと言うんですけども、ああであってほしいこうであってほしいんですけど、もう任すと運営は、市の設置ですから設置者と運営団体が話合いをするので、運営の話がどうなるかっていうのを、もし少しでも垣間見ることができれば、二宮委員が言った時間内ですけどその間に、できればセットしていただいたらと思うんですが、いかがでしょう。

○二宮委員

酒井委員言われたのは、定例会までにはちょっと無理な話だと思います。前の特別委員会でもあれだけ申し込んで、やっと1回、短い期間受けて

もろうただけなんで、そこはやっぱり受けてからやないと、僕は話を受けてもらわんのじゃないかなと思うんで、議長が言われた中で出来そうなど思うことは、例えば両病院長に話を聞く。そして、指定管理料が何でこうなったのかという、そういうところは出来ますよね。スケジュール的に。じゃないかなと思ったんで、それ以外のことがどこまでできるのかというのを、ちょっと私には今すぐ答えは見つかりませんが、そういうところを模索しながら、定例会まで何とか運営していただければと思います。

○酒井委員

先般、三瓶と明浜の話したときに4億8000万円はどこから出たんですかって聞いたら、あちらから出ると数字でという話聞きましたが間違いなかったですね。あちらから出てるって言ってたね、4億8000万円ね。

○まつもと委員

ちょっと教えてもらいたいことも含めてなんですけど。私一般市民の感覚なので、この間までただの人だったので、契約するにしてもこういうふうにやりますよって言っていただかないと契約出来ないなって思うのが普通の民間の感覚なんです。今の段階で、この指定管理の1番の私が怖いなど思っているのは公立であれば、市民や議会が求めていくことができる、こういうふうにしてほしい、こういう希望を出して行くことが出来ますが、指定管理は運営が向こうなので、それが出来なくなる。権限が全くないですよね。それは条例制定の中でできるかもっていうことですか。可能性ですよ。

○源委員長

可能性というわけじゃないですが、特別委員会つくってます。今度、指定管理なるまで1年間あるとする。その間にこの特別委員会をどういう形で行うかはおいといて、その中でさっき言われた条件とか、細かなことが可能な限り協議、検討することは可能だと思います。尚且つ、指定管理になった後も、理事者が言われたけど、特にこういう病院なんで、いわゆる指定管理に関する評価検討委員会、ゆるりあんもあるし、つくると思うんで、その中に例えば議会が何人か入るとかいう形のことはあり得ると思います。

○まつもと委員

おっしゃるとおりで、もし指定管理契約するにしても私は議会がチェックできる仕組みをとにかく入れないといけないかなと思うし、議会にも発言権が欲しいなど、情報公開、収支報告書を公開してもらおうとか、これは中核市では半分やって、西予市ぐらいのレベルではちょっと通るか通らないか分からないと思うけれども、それでもやっぱり病院なので、公表してもらおうほうに条件付けたいと思い、これらは全部契約後だと思います。ただ、井関議長が言われたその経営に関することと、医療従事者に関することってというのが、大きくこの審査会の中でも、附帯決議で出ていて、これらについては、協会にはっきり示していただくっていうのは私は大事なかなと思うので、特別委員会で求めていくっていうのは、一つ大事なかな。経営に関することをこちらで調査研究して、協会に突きつけると言ったらおかしいけれども、どういうことなんだというふうに問う、また医療従事者に関することも、こちらで何とかこういう方法があるんじゃないかということを検討してこれは市に提案するっていうのは、いいのかなと思います。

○酒井委員

先ほど言ったのは、設置者は運営者に全部出せるんで、いろんな話を先ほど言った提言についても設置者は必ず出すと思います。必ず出します。運営者に条件として出すわけで、そしてそれを先ほど言いましたのは議会がやはりどこら辺まで、設置者に物申すか、執行権は理事者側にあるわけで、議会の議決権の中で動くしかないんです。ただし、議決権の了解を取るために執行権者は、我々のとこへ詳しい説明、情報公開をしなければいけない。それをいかに求めていくかというところになるんです。だから議会のありよう、議会の位置というものをいつも考えてないと、我々執行権者でございませんで、その辺りはしっかり提言して、議決権があるわけで、その辺りで考えていくべきだと思います。ですから設置者は、いつも言ってますけど、運営者といろんな形で話ができるということを言っておるようでございますが、どこまで言うかっていうのは信頼度合いなんで、信用するかどうかということなんで、その辺りから始まるんじゃないかと思います。ただ、もう一つ、二宮委員おっしゃいましたけど、やはり申し入れるぐらいはしても、拒否されても、時間がな

いと言われても、申し入れるべきだと思います。特別委員会を設置したわけでございますんで。

○源委員長

先ほど二宮委員から6月定例会に向けてタイムスケジュール的な話がありました。私冒頭申し上げました5月30日来週の木曜日に議会運営委員会が開催されその時点でまず、当初の6月定例会議案として、この指定管理の議案が出るかどうかははっきりします。でない場合は、途中で追加上程という可能性も考えられますが、議会運営委員会開会前のあくまで年間予定通りでいうと、6月10日の月曜日に開会して、6月27日木曜日に、最終日閉会予定。たった17日しかないのが実情です。今日からでも本当に1カ月少し残すだけです。先ほど二宮委員から言っていた委託料についての調査、これについてはできるかなと思います。もう1点、市民病院及び野村病院の病院長との意見交換の場、全員で行くのか、2班に分かれていくのか、最後あとやれるとしたら、これはちょっと別の話になるんですが、去年何回かやりました病院職員の組合の皆さんから、もう一度議会と意見交換をしたいと申出を受けておりますが、一応、先週聞いとったんですが今日の委員会終わったあとじゃないと返事を出来ないなと思いましたので、今のところは留保しております。正直なかなか深くというのは正直難しいかなという感もあるんですが、できる限りこの限られた時間の中で何ができるか、先ほど見ていただいた最終報告書の中で、これ多分あまり今も変わってないと思います。2ページ目の今後の方向性についてで、委員からは、指定管理者制度の導入に向けた意見これが①、②として、現状維持ですね。現在の地方公営企業法の一部適用が現状です。3番目に全部適用これは、市立宇和島病院が現在やられておりますが、両病院長を含め病院幹部の判断として、見送りとなったと聞いております。最後に、野村病院に病床残した上での指定管理制度の導入、この4つが大きな意見でしたが、この1番最後野村病院に病床という話がこの委員会の最終報告の後で、実際不可能だという話になっているというふうに理解をしております。その中で、今回は、指定管理者制度導入じゃなくて、指定管理者として、地域医療振興協会がふさわしいのかどうかという議案を出すと言明をされました。非常

に私自身もそうですが、材料が実際非常に少ない中で、非常に重い決断をしなくてはならないのが、我々選挙に当選して選ばれた人間の責務だと思っております。具体的にまずは、先ほど言いましたとおり委託料について、これについては、いわゆる医療対策室にお願いすれば出るのではないかと思います。2点目に、私昨日宇和地区8人で医療対策室と、ちょうど菊池院長と看護部長、お二方来ていただいて2時間程度意見交換をしました。他のところ聞いてないんです、ちなみに野城って誰がこられたんですかね。医療対策室と、大塚病院長、看護部長。明浜三瓶はどうやったんですか。菊池院長。そしたら、お互いどうやって進めるかっていうのを具体的に決めれば動けると思うんで、出来たら最低でも、週に1回、必ずこの委員会は開きたいと思うんですが、皆さんいかがでしょうか。しないと多分本会議始まるとなかなか時間的に余裕がなくて、なんで出来ましたら。

○中村委員

先ほどの話ありましたけれども、議案が上程された際の委員会付託をどうするかは議運で決めることで、諮ることであります。議長の思いを聞いておきたいと思えます。

○源委員長

今中村委員から、議案が出された場合の付託委員会、議長の今のお考えを教えてくださいと思います。

○井関議長

本議会でこの特別委員会に付託を考えております。

○中村委員

特別委員会に付託をするという議長の希望どおりに議運では決まるとすると、10日開会で上程されて、その時点で特別委員会付託ということになるのかな。

○源委員長

初日上程になった場合は、本会議での質疑があって付託になるんで、予定でいうと一般質問終了後で19、20日常任委員会の予定になってますので、恐らく特別委員会付託された場合は、その後21日以降になるのではないかと想像します。それまでに、さっき言われた指定管理委託料とか、とにかく病院長お忙しいと思いますので、まずこのちょっと日程調整を医療対策室通じて依頼をし

てみたいと思いますがいかがでしょうか。あとは委託料についても、改めてお願いすると、酒井委員からありましたんで地域医療振興協会に、議会と意見交換の場を持っていただくように依頼します。そこまでは構いませんでしょうか。それが可能かどうかというのも、去年もなかなか合わなかったんで、ただやはり最低でも来年4月に指定管理になるとしたらそれまでには絶対にそこはしておかなくてはならないと思っております。特別委員会の進め方と言いましたが、なかなか正直難しいというか私自身も、どうやって進めようかなというのが今日までありましたが、限られた時間の中で、できることを特別委員会の中でやった上で、なかなか歩みが合わなかったりとかいろいろ思うんですけど、出来たら各委員御自分の意見をしっかり出していただいて、その中で、結論に至ればいいのではないかと思います。

○大森委員

私初めてのことなので、特別委員会のこともちょっと申し訳ありませんよく分かってないんですが、先ほど議長が言われた内容を把握した上で判断をしていただきたいと、それは非常に私も選挙を戦った上で、病院問題というのは訴えてきました。それで私もしっかりと内容を把握した上で、取り組みたいと思っておりますので、今のところ本当先ほど市長にいろいろ聞きましたが、事務局にも聞きましたが、先ほどまつもとみき委員が言われたように、当面の間とか当分とかいうのが出てきて私もそれで判断をせよと言われても、それはちょっと出来かねるなど。なので私も本当に内容を把握した上で判断をして行きたいので、この特別委員会でしっかりと内容が把握できるような運営をして、取りあえず6月議会ですよね当面は、までに判断をできるような運営の仕方をしていただきたらと思います。

○酒井委員

把握っていうのが前回の特別委員会もそうでしたけれども、私のように合併のときから、両病院の2つの病院は要らないということから始まって、平成21年に委員会をこしらえて、それからずっとやって救急の問題なんかずっとやって、中での人間とそしてこの中でも、最初の委員は視察にも行って実感性がある形の把握性、いろんな把握の仕方が非常に違ってきておると思います。私も

失礼なことを以前言いましたけども、兵頭前委員長のときに、もっと分からないなら分からないで勉強してくれんといけんという言い方をしました。それは把握の仕方がそれぞれ違うんです。これは過去から始まって現在の把握、過去の把握、過去も知って現在の認識把握が、やはりそれぞれ違うんですよ、この危機感も違うし、だから、みんな一緒というわけにもいきませんので、やはりしっかりと皆さん把握をしていただくこと、の努力をやったりしなければいけない、私はそう思います。だから把握の仕方もみんなそれぞれ違うんで、地域によっても違うんでねこの問題。ですから地域の委員の把握の仕方と、自分の立つ位置によって視点を変えたら別な視点になるわけで、その辺りも含めた形で把握の仕方違うんで、その辺りを把握の仕方っていうのをしっかりしていただくように、できれば過去のところまで把握をしていただきたいなと思います。

○中村委員

議長の思う通り特別委員会に付託されるとすれば、委員会の採決が本会議の採決にほぼ近い意味を持つ 17 名でやるわけですから、それで閉会日の 27 日に向けてもう 1 回正式に議場で議決をするということになると思います。その間の日数が長いのか短いのかは、行政にとっては非常に大きな意味を持つんじゃないかなみたいなことも勝手に考えたりしますので、そういうところのスケジュールも少し、別に行政におもんぱかるわけではないけれども、考えたほうがいいのかというふうに思いました。特別委員会の日程のことについて申し上げました。これが厚生常任委員会に付託されるということでありましたら 6 名で審議して、委員会では否決したけれども本会議場では可決とか、その逆もありうるみたいなこと。特別委員会で諮るということは、そのぐらいの意味を持つのだなというふうに考えております。

○酒井委員

条例案件につきましても、実際から言えば、特別委員会にそのまま回してもよかったんですけども、そのときも、条例案件も厚生常任委員会に回りました。ですからこの線が議長の要望ではありますけれども、私は議運の中でしっかり討議してもらって、今中村委員のおっしゃられたような考え方もありますんで、議運の中でしっかり、議長

の意向も組みながら検討していただきたいと思います。

○信宮委員

冒頭の議長の思いの中に、委託料の 4 億 8000 万円の問題と、もう 1 つ野村病院の 30 床を残したいという思いで選挙戦を戦ってきたという意見があったんですけども、これ野村、城川の方はなかなか皆さん同じような意見であったと思います。この野村病院の 30 床を残すという問題は、宇都宮俊文委員も言われたとおり、やはりなくてもいいという意見は 1 人もいないと思うんですけども、地域医療振興協会が、A 案 B 案の提案を出して無床である B 案になった、その経緯なんかも含めて、今の状態で一部適用のままで 30 床を残すことができるのかどうか。その辺も、病院長また現場の職員、それから事務長などもヒアリングを重ねれば、おのずと何か方法があれば出てくると思いますし、もしかしたら、これは皆さんの総意としてこれ無理だろうという意見にもなるかもしれないし、その辺はこの特別委員会で、調査をしてもいいんじゃないかなと思うところです。

○二宮委員

今ちょっと酒井委員の御意見やけど、前回は、特別委員会がなくなったから厚生常任委員会に来たんですよ。そうですね。初日に特別委員会がなくなったんで厚生常任委員会に来たということ。

○宇都宮俊委員

私の言いたいことは二宮委員がほとんど伝えてもらったんで私も同感なんですけど、ちょっと今信宮委員が言われた 30 床を残すか残さないか、この議論はもうはっきり市長がああいう立場とってらんで、今さらこれを残してくれという議論にはならんと思う。その中で判断していかないと、今協会に対して残せるんですかというこれは次元過ぎとらんで、そんな中で皆さんがどう判断するかで進めんと、話にならんんじゃないかな。今さらそれを協会に、残してくださいというところはとくに過ぎてらんでそれをもう完全にいけんというんであれば、もうこれは否定するしかないし、そのところをもうはっきりして決めないとこれから後には進めない。ただ、私もその 30 床をなくすことは、賛成は出来んけど、いずれにしても指定管理するにしろせんにしろ、もう 30 床は無理だ

ということはもうはっきり言いよるんで。またそこに戻ると、この会自体が何にも前向いちゃいかんの。お金の問題でもない、人員の問題でもない。そのところからはっきりして、それでも否定せないけんのであればせないけんと思うし、1つずつ条件出してそれでクリアできるんであれば30床をなくすることを認めて、前向いて行政に対してどんどんあれせいこれせいという条件を出すんであればいいけど、そこら辺元に戻るんであれば、この会はどっち向いていくのやら分からのじゃないですか。

○信宮委員

私が言ったのは、地域医療振興協会に考え直してほしいということではなくて、地域医療振興協会があくまでも無床化にする、でもこの中には、その指定管理に反対して、現在のまま続けていったら何とかやれるんじゃないかという考えの方がいらっしゃるので、今のまま続けていったらどうなのか本当にやれるのかどうか30床残したままできるのかどうか、その辺はずっと検証したらいいかなと思った意味合いです。

○河野副委員長

井関議長が言われた30床残して指定管理はしてもいいけど、残す可能性があるのかなのか。それを調べてみてくれと、議長は言うたと思うんだけど。

○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時22分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後2時37分)

それでは今ほどの協議の中でいろいろ御意見を賜りましたので、それを取りまとめて委員長から報告をさせていただきます。

まず、委託料について、年間約5億円という説明がありましたが内容について少し明確にできればという意見があったかと思しますので、これについては医療対策室に、早速今日申入れをいたします。

2つ目に、両病院との意見交換の場を設けたいと思います。内容等についてはまた次回協議したいと思います。

3番目、今回の指定管理の相手先となられる予定の地域医療振興協会との意見交換を申入れいたします。

4番。病院職員組合から、議会との意見交換会の依頼が5月初旬に来たと事務局から報告を受けております。この内容等については、委員長、副委員長及び議長で協議し、皆様に御報告をいたしますのでお願いいたします。

最後5番目、先ほど山下委員からこれまでの昨年の特別委員会の内容等についての資料提供の申出がありました。これについては、早急に対応をいたしますので、御承知おきお願いいたします。

一応今日特別委員会の進め方ということで議題といたしましたが、おおよそこの1カ月強の中で、時間は限られておりますが、できる限りこの委員会及びそれぞれの活動の中でやった上で、結論に至ればと委員長として思いますし、委員の皆様にもぜひ御協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

(2) その他、ほかに何かございましたら挙手の上お願いします。

○まつもと委員

3月議会で、厚生常任委員会に付託されて、傍聴出来たんですが、特別委員会は開いていただいて傍聴可能なのか、またこの会議前の特別委員会は難しいというのであれば、付託された後の開会からの特別委員会は傍聴できるとか、なるべくオープンな形で進めてもらいたいと思うんですが、どうでしょうか。

○源委員長

西予市議会基本条例において全ての会議、委員会としては、基本的に公開の形で傍聴可と考えております。その判断は細かな説明があったりとかそういった可能性もあるんでその辺りについては判断を私でしますので、よろしく申し上げます。

ほかに何かありましたらお願いします。

○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時40分)

○源委員長

再開を告げる。(再開 午後2時42分)

ほかにありませんか。

[発言する者なし]

○源委員長

それでは、以上をもちまして、今日の第2回を散会したいと思います。

○河野副委員長

御起立ください。本日の特別委員会を終了しま

す。

散会 午後 2 時43分

西予市議会委員会条例第30条第 1 項の規定によりここに署名する。

地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会委員長

源 正樹